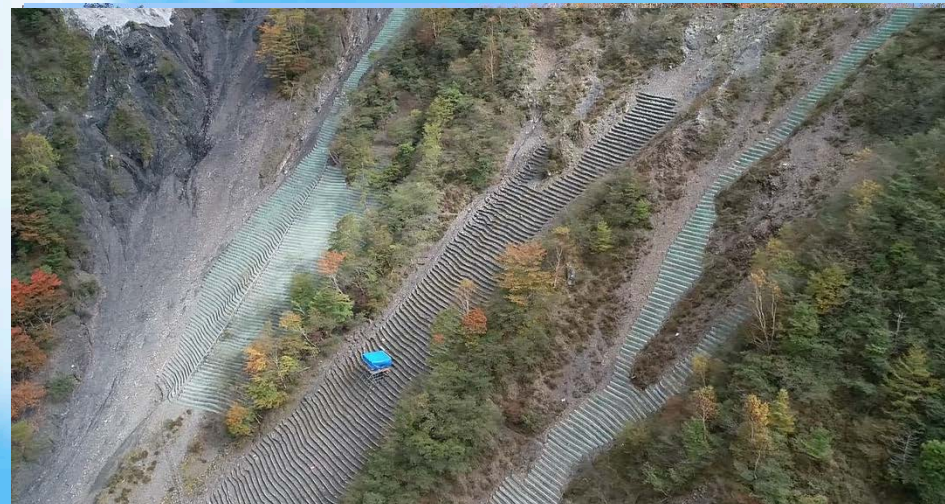




**梅島 千愛**  
2018年入社

昨年度、砂防堰堤工に携わったのち、当工事では現場代理人として従事しています。自然相手の現場なので予期せぬ出来事もしばしば発生しますが、環境に合わせた柔軟な対応力と想像力を、この仕事で身につけられたらと思っています。



## <工事・業務概要> 山腹工(柵工) 延長5,322m



### ・建設業を選んだ理由

前職は出版・編集という全く関係のない業界にいた私ですが、土木会社を営んでいた父の手伝いをしていこともあり、私にとってこの業界は常に身近な存在でした。そんな折、「土木・建設のイメージを変える」という時流を受けて、発信する側だった経験がこの業界で活かせるのでは、と感じ、まずは自分で土木を体験してみようと発起。思いきって建設業の世界に飛び込みました。

### ・現場での役割

施工場所は、落石や滑落による事故が懸念されるので、安全巡視、使用機材の点検が、かせません。また、大雨や台風の後にはドローンを飛ばし、地山の崩落や仮設物の損傷がないかをチェック。安全を確認した上で、作業の指示を行うなどの対応を行いました。

### ・未来をつくる若手・女性技術者の皆様へ

工事によっては危険な場所での業務や肉体労働も行わなければならない、女性にとっては苦しく思うこともあるかもしれませんが、しかし、ドローンの操縦や3D設計などのICT施工における業務、快適トイレや更衣室の導入など、“女性でも働きやすい環境”へは変わりつつあるように感じます。あとは自分のやる気次第。現場でどう働きたいか、どうなりたいか目標をもつことが、一番必要なことではないかと考えています。